埼玉県ＩＣＴ活用　実践事例

ＩＣＴで　授業　をＤＸ！

学年　中学校２年　　教科など　技術

フォームを用いて、リアルタイムにアンケート！

使用するアプリケーション等

・Google Forms
・Google Classroom

単元・題材　みんなが快適に使えるチャットツールをつくろう！

本時の目標　情報モラルの必要性と、情報を収集・発信するときに注意することを知る。

ＩＣＴを活用することで　できること

・リアルタイムで生徒にアンケートを取ることで、教員の事前準備が減り、生徒のリアルな意見を収集することができる。
・収集したアンケートは、手作業でグラフにする必要なく、瞬時にグラフ化し、アンケート結果を見やすく表示することができる。
・集約した意見をもとにさらに深く考えさせ、意見が変容したらその都度再編集することができ、リアルタイムに表示することができる。

ＤＸ前（ＩＣＴを使っていなかった頃は・・・）

1　導入（準備）

① アンケート用紙を各学級分作成・印刷する。
② スマホ・タブレットの使用頻度や使用法についてのアンケートを取る。
③ アンケートを回収し、表計算ソフト等を用いてグラフ化し拡大印刷しておく。

2　展開（実施日）

学習課題　・互いの考えの違いを理解し、SNSの使い方を考えよう！
☆　アンケート内容をグラフ等で提示する。
① あなたがクラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉を１つ選びましょう。
　→ その場で手を上げさせ、理由を発表させる。
② グループトークの内容を見て、あなたならどう返信するか、上手な返信を考えよう。
　→ ワークシートに自分の意見を書き、グループで話し合い意見を共有する。
③ SNSのトーク内容から考えられる今後のトラブルを考えよう。
　→ ワークシートに自分の意見を書き、グループで話し合い意見を共有する。

3　まとめ

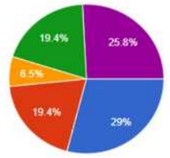
★ SNS等の特徴を理解し、情報モラルの必要性がわかる。
① 振り返りシートの今日の授業の振り返りを記入する。

DX!

ＤＸ後　（赤字はICT活用場面）

1　導入

① 事前にフォームで用意したデータを
　Google Classroomを通じて配付し、回答させる。
　→ リアルタイムで回収結果をTVで表示し、
　　学級の現状を把握させる。



2　展開

学習課題　・互いの考えの違いを理解し、SNSの使い方を考えよう！
① Google Formsにて、『あなたがクラスの友達から言われて
　「いやだな」と感じる言葉を１つ選びましょう。』を配付し回答させる。
　→ リアルタイムで回収結果をTVで表示し、
　　学級の現状を把握させる。

② Google Formsにて、『グループトークの内容を見て、あなたならどう返信するか、
　上手な返信を考えよう。』を画像付きで配付し、回答させる。
　→ リアルタイムで回収結果をTVで表示し、
　　回収結果をデータにし、個別でも確認できるように配付する。
　　グループで話し合い意見を共有する。

③ Google Formsにて、『SNSのトーク内容から考えられる
　今後のトラブルを考えよう。』を配付し、回答させる。
　→ リアルタイムで回収結果をTVで表示し、
　　回収結果をデータにし、個別でも確認できるように配付する。
　　グループで話し合い意見を共有する。
　　また、再編集できるようにしておく。

3　まとめ

★ SNS等の特徴を理解し、情報モラルの必要性を理解できたか。
① フォームにて、振り返りシートを記入させる。

授業者から（成果・課題・留意点）

・事前準備として、プリントの作成・印刷・配付・回収・集計・グラフ化・提示を行っていたが、すべてGoogle Forms上で瞬時に行うことができるため、準備の時間短縮とキレイで見やすいグラフ表示が作成できる。
・他者の意見をリアルタイムで知ることができ、再編集も可能なので板書の代わりとしてシートを活用することができる。
・スピード感を持って授業展開を行うため、ワークシートに生徒の記述を残したり、記録したりすることが難しく、より構造的なワークシートの構成や、ソフト上の仕組みを整えることが今後の課題である。